

CASBEE_Sapporo2014v1.2
札幌田中病院

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性能										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 星光利用										
1 星光率										
2 方位別開口										
3 星光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 星光制御										
2 眩り及び対策										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
2 浮遊尘埃対策										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
3 衛生管理業務										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1 耐震性										
2 免震・制振性能										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔										
6 主要設備機器の更新必要間隔										
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備										
2 給排水・衛生設備										
3 電気設備										
4 機械・配管支持方法										
5 通信・情報設備										
3 対応性・更新性										
3.1 空間のゆとり										
1 階高のゆとり										
2 空間の形状・自由さ										
3.2 荷重のゆとり										
3.3 設備の更新性										
1 空調配管の更新性										
2 給排水管の更新性										
3 電気配線の更新性										
4 通信配線の更新性										
5 設備機器の更新性										
6 バックアップスペースの確保										

CASBEE_Sapporo2014v1.2 札幌田中病院		重点評価項目				■A:省エネルギー		■B:省資源		■C:緑化		■D:雪処理	
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄							
		A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q3 室外環境(敷地内)													
1 生物環境の保全と創出													
2 まちなみ・景観への配慮													
3 地域性・アメニティへの配慮													
3.1 地域性への配慮、快適性の向上													
3.2 敷地内温熱環境の向上													
LR 建築物の環境負荷低減性													
LR1 エネルギー													
1 建物外皮の熱負荷抑制													
2 自然エネルギー利用													
3 設備システムの高効率化													
3.1 集合住宅以外の評価(3a.3b)													
3.2 集合住宅の評価(3c)													
4 効率的運用													
4.1 モニタリング													
4.2 運用管理体制													
4.1 モニタリング													
4.2 運用管理体制													
LR2 資源・マテリアル													
1 水資源保護													
1.1 節水													
1.2 雨水利用・雑排水等の利用													
2 非再生性資源の使用量削減													
2.1 材料使用量の削減													
2.2 既存建築躯体等の継続使用													
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用													
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用													
2.5 持続可能な森林から産出された木材													
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み													
3 汚染物質含有材料の使用回避													
3.1 有害物質を含まない材料の使用													
3.2 フロン・ハロンの回避													
3.1 消火剤													
3.2 発泡剤(断熱材等)													
3.3 冷媒													
LR3 敷地外環境													
1 地球温暖化への配慮													
2 地域環境への配慮													
2.1 大気汚染防止													
2.2 温熱環境悪化の改善													
2.3 地域インフラへの負荷抑制													
2.3.1 雨水排水負荷低減													
2.3.2 汚水処理負荷抑制													
2.3.3 交通負荷抑制													
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制													
3 周辺環境への配慮													
3.1 騒音・振動・悪臭の防止													
3.1.1 騒音													
3.1.2 振動													
3.1.3 悪臭													
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制													
3.2.1 風害の抑制													
3.2.2 砂塵の抑制													
3.2.3 日照障害の抑制													
3.3 光害の抑制													
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策													
3.3.2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策													